

UTCP 講演会

科学技術リテラシーと 「合理的」市民参加 ——共生の知の哲学に向けて——

講師：石原孝二

(いしはらこうじ)

本年度より東京大学大学院総合文化研究科（科学史・科学哲学）准教授
UTCP 事業推進担当者
専門は哲学，科学技術倫理学，技術の哲学

2008年6月11日（水）18:00-20:00

東京大学駒場キャンパス 18号館 4階 コラボレーションルーム 1

使用言語：日本語

入場無料・事前予約不要

【講演概要】

科学技術に関わる意志決定への市民参加のための手法開発は、欧米ではすでに30年以上の歴史を持っているが、市民参加に関わる原理的な問題は解決されずに残ったままである。

社会にとって市民参加はそもそも必要なのだろうか、また、「市民参加」は「市民」にとってどのような意味をもっているのだろうか？

本講演では、「社会的合理性」の経緯なども追いながら、科学技術に関わる意志決定への市民参加の意義を「合理性」という観点にこだわって考えてみることにしたい。

共生のための国際哲学教育研究センター（UTCP）

<http://utcp.c.u-tokyo.ac.jp/>